

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「福岡歯科大学第5学年臨床実習における緊急時対応実習～小児患者型教育用シミュレーターロボットを用いて～」に関する 研究実施のお知らせについて

福岡歯科大学では、最適な医学教育を学生さんに提供するために、教育効果を研究し教育内容の改善などを目指す医学教育研究を行っています。そのような医学教育研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくと同時に、対象者となられる方が研究不参加を望まれる場合にはその意思表示をしていただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長 水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2024年12月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2020年10月1日～2021年9月30日に、当院小児歯科を実習した5年生の学生さんでロボット実習を受けアンケート調査に同意された方が対象です。同意されない方は対象から除外いたします。目標症例数は52例です。

この研究において、ご自身のアンケート等が利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。研究参加を辞退しても、評価・成績等への影響は一切ありません。

2. 研究の目的や意義について

小児は歯科治療に対する理解度や協力度が成人に比べて低く、治療時の不適応行動が医療事故に結びつく場合もあるため、より細やかな安全への配慮が必要です。歯科医師が患者さんに最適な治療を提供するためには、歯科医師としての正確で安全な治療行為はもとより、治療中の患者の表情や動作に対する配慮と同時に全身状態の把握が求められます。そこで福岡歯科大学では、そのような歯科医師を養成するために、株式会社テムザックと協同で Pedia_Roid（小児患者型教育用シミュレーターロボット）を開発し、令和2年度に本学に導入しました。このロボットは、小児への一般的対応法や治療時に問題となるパニック時（号泣、体動）などを再現できるばかりでなく、アナフィラキシーショックや局所麻酔中毒などの緊急事態をシミュレーションできます。これを用いた実習を行うことで、高度な臨床技能や問題解決能力を身につけることが可能となると考えていますので、今後の教育の改善に役立てるため実習終了後、速やかにアンケートを行っています。

このアンケートを分析することにより、このロボットを用いた実習が学生の技能の習得に効果があるかどうかを判定することを目的とします。

3. 研究の方法について

実習の実施に際して、患者の容態急変を想定したシナリオ、評価シート、運用マニュアルは小児科や口腔外科と協力して作成しました。これを用いて2020年10月1日～2021年9月30日に行った5年後期臨床実習で小児患者型教育用シミュレーターロボット緊急時対応実習を受けた、52名の学生に対してアンケート調査を行いました。その後、速やかにアンケート結果を集計分析し公表します。

〔取得する情報〕

実習後に実施したアンケート内容 21項目

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野において同分野教授の尾崎正雄の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	福岡歯科大学医科歯科総合病院小児歯科
研究責任者	福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 教授 尾崎正雄

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 教授 尾崎正雄 連絡先：〔TEL〕092-801-0411 (内線1656) 〔FAX〕092-801-0692 メールアドレス：mozaki @ college.fdcnet.ac.jp
---------------	--

(作成日：2021年11月29日 最終修正日：12月20日)